

釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



令和6年10月1日宝輪秀光先生（青陵中）



令和6年10月18日大内拓哉先生（春採中）



青陵中学校の宝輪秀光先生は、中学校2年の数学の授業で、目標を「電気自動車ガソリン車に総費用を追い越される地点を求める方法について、2つのグラフをどのように用いればよいのかを説明することができる」と設定しました。それぞれの車の「車両価格」「1年間あたりの維持費」の情報から、どちらの車を購入した方がお得なのか考える文脈とし、やりがいを大切に学習課題の設定につなげました。



春採中学校の大内拓哉先生は、中学校3年の数学の授業で、目標を「見いだした2つの三角形が相似であることの証明の方針を、相似条件を成り立たせる根拠を見つけて説明することができる」と設定しました。証明の方針を練り上げる際に、机間指導時に立てた指名計画を基に話し合いを進めて、子供から引き出した数学的な考え方を逐次板書する工夫をしていました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう集団思考にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 個人思考時に、教師が机間指導をして「どの考えを」「どの順番に」「どこまで」取り上げるのか指名計画を立てること。
- ② 集団思考時に、子供の表現を基にして集団思考が進められるように促し、「どんな見方・考え方を共有物に残すのか」事前に想定すること。



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。

また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

